

(別紙様式)

【事業区分：自主企画研修等】

UMEIRO

○グループの紹介

雫石町、紫波町で県内では知見の少ない花梅等を栽培する女性5名を含む7名のグループ。令和7年からグループとして活動を開始し、これまで加工実習、先進地視察研修を実施。



全員が揃わなかったため、了解の下生成AIで集合写真を作成

○人数

7人（うち女性5人、男性2人）

○経営区分

農業7名

○事業目的

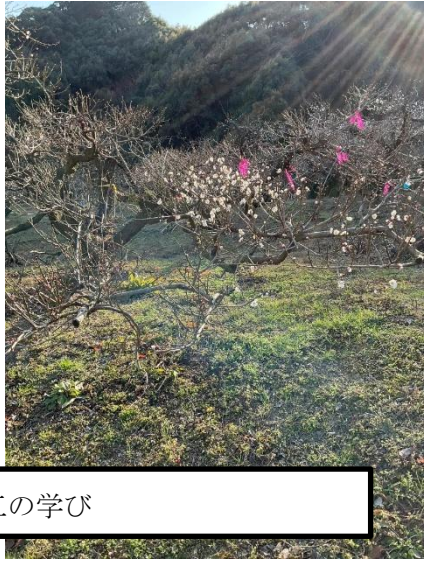
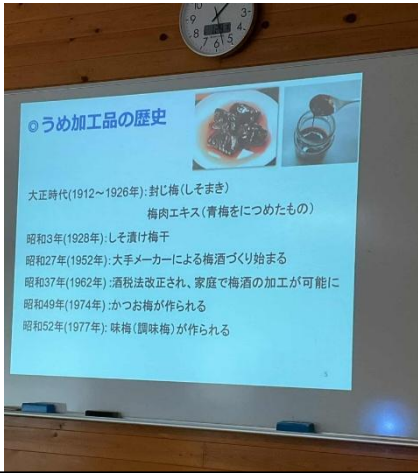
本団体は花梅を中心とした観光農園の開設及び梅加工品の開発・販売を通じた地域活性化を目的とし、岩手県では栽培面積が少ない梅に着目し、実梅を使用した加工品販売を目指すだけでなく、花梅の鑑賞性も併せて楽しむことで、県内で先駆けて梅観光産業の地位確立を目指すもの。

○事業実施実績

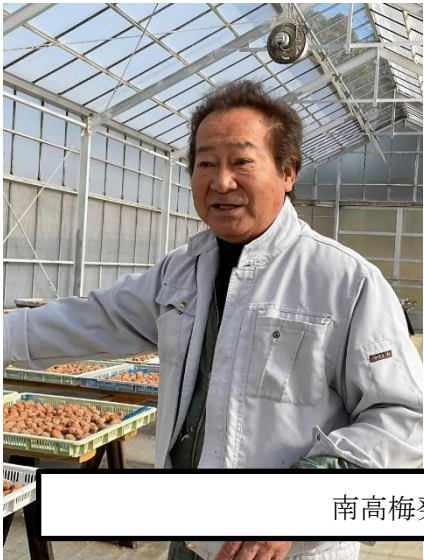
実施内容 (具体的な内容・方法)	時期	場所	備考
和歌山県みなべ町へ花梅栽培及び梅加工技術について視察研修を行った	1月28日～30日	和歌山県みなべ町 たかた果園 県うめ研究所 南部梅林 うめ振興館	参加人数 女性3人
研修成果について、会長に報告	1月31日	紫波町あぐり志和	女性3名、 男性1名

○活動の成果

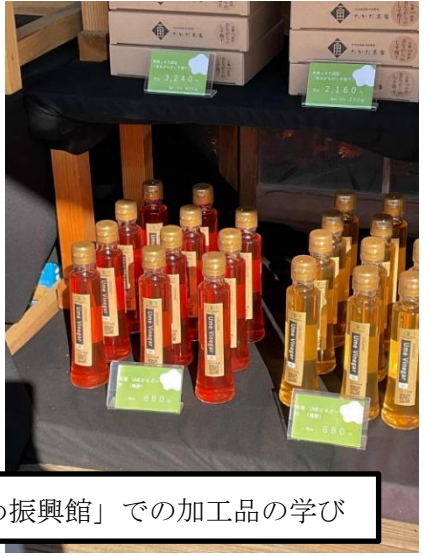
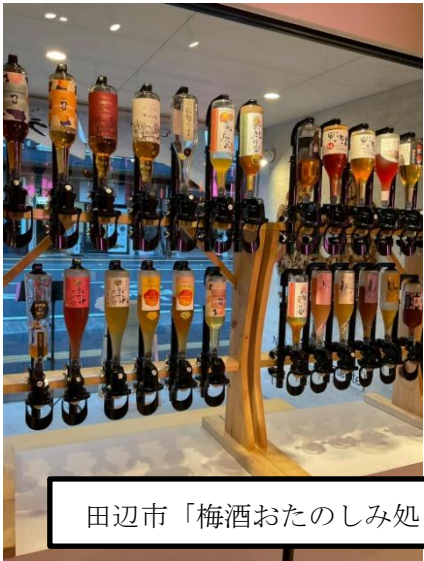
- ・県うめ研究所やたかた果園（南高梅発祥の地）への視察研修を通じて、剪定方法や梅加工の方法が分かり、今後の栽培や加工についての知見を得た。
- また、うめ振興館の視察で、梅干しや梅酒以外の加工品の販売が少ないことが判り、梅を用いた菓子類等の商品開発の必要性を感じた。



和歌山県うめ研究所での剪定方法、梅干し加工の学び



南高梅発祥の地、たかた果園での梅干し加工の学び



田辺市「梅酒おたのしみ処うめ子」、みなべ町「道の駅みなべうめ振興館」での加工品の学び

○次年度に向けて

- ・これまで放任栽培だった梅について、研究所で学んだ剪定方法により低樹高に仕立て、収穫作業の軽労化に努めたい。
- ・また、剪定した枝については、挿し木して苗増殖に用いるほか、ふかし栽培を行い枝も花木として産地直売所で販売していきたい。
- ・加工については様々なレシピを活用し、個性ある商品開発に努め、『賑わいある産直』を目指したい。